２０２3とちぎ有機の会「市民講座」

**「多重危機が世界で進行する中で、**

**世界を救えるのはやはり有機農業」**

２０２3年度の市民講座は、2020年度に引き続きまして一人の講師による通年講座といたしました。

講師は､民間稲作研究所常任理事の印鑰智哉さんです。印鑰さんにつきましては、今年2月の研究所公開

シンポジウムにおいて「急速に進む命の分解」と題した報告をしていただきました。その報告内容の詳細

を知りたいとの声がたくさんあり、今回の企画となりました。

**第3回**

**「ゲノム編集」食品は何が問題か？**

2015年以降、遺伝子組み換え作物の作付面積は、規制等により減少方向にあります。そこで登場したのが、規制のかからない遺伝子組み換え技術としての「ゲノム編集」です。

ゲノム編集とは、自然に起こる進化を先取る技術で、起こしたい進化を担うDNAをねらって刺激を与え、自然の回復力でその進化を起こします。この技術の価値は“スピード”にあります。自然界や品種改良で長い時間をかけて起こった進化を、“速く”起こさせるのです。

今回はゲノム編集について、その技術をめぐる問題点、それを活用した食品の安全性などをお話ししていただきます。併せて、遺伝子（＝生物を形づけるために不可欠な設計図）を人為的に操作することの意味合い、また、生命とは何か、といった点を学びたいと思います。

記

期日 20２3年11月２9日（水）

時間 １8時0０分～20時0０分

会場 NPO法人民間稲作研究所 有機農業技術支援センター （上三川町下神主233）

 （センター内30台駐車可。電車はJR石橋駅東口からタクシーで約5分）

申込み 氏名・連絡先を添えTEL/FAX 0285-53-1133まで。

 民間稲作研究所のホームページからも申し込めます。

会費 500円

定員 30名（先着順）

参加申込書

先着３０名です。資料準備の都合上、11月２7日（月）の午前中までにお申込みください

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ご氏名 | フリガナ他 　　　名 | 連 絡 先電話FAXメール |  |
| ご住所 | 〒 |

問合せ：とちぎ有機の会　斎藤・高山（NPO法人民間稲作研究所内）

TEL/FAX（0285-53-1133）または同じ内容をメールでinfo@inasaku.orgまで

年間予定（変更の際は通知やホームページでお知らせします）

＜　2023年度　市 民 講 座 の 開 催 内 容　＞

　　　　　　月　　日　　　　　　　　　　内　　　　容

第1回　 7月26日（水）　工業型農業が多重危機を作り出した　→放射線米がやってくる？

第2回　 9月27日（水）　遺伝子組み換え食品は何をもたらしたか？

第3回　 11月29日（水）　「ゲノム編集」食品は何が問題か？

第4回　※ 1月17日（水）　工業型農業から有機農業・アグロエコロジーへ

* 当初予定より変更になっています。

［付記］開催日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。